

Press Release

2021年11月30日
日本公認会計士協会

IPO 会計監査フォーラム開催について

日本公認会計士協会（以下、JICPA）は、2021年11月29日に「IPO 会計監査フォーラム～IPO 監査の担い手となる中小監査事務所交流会～」(後援：金融庁、日本証券業協会、東京証券取引所)を公認会計士会館にて開催いたしました。公認会計士や IPO 市場関係者（ベンチャー企業、証券会社、ベンチャーキャピタル、証券取引所等）が約 350 名の参加となりました。

JICPA 手塚正彦会長は「IPO を巡る足元の情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響等により上場延期を発表した企業もあったものの、企業の上場意欲は依然として高く、また、監査法人別の傾向では、準大手監査法人や中小監査事務所が監査人である企業の上場が着実に増加しており、IPO の新たな担い手として中小監査事務所に大きな期待が寄せられている。本フォーラムが IPO マーケットの関係者の皆様に、公認会計士の IPO に対する様々な役割をご理解いただく場となるとともに、円滑な IPO を実現する環境整備を促進する機会となれば幸いです」と挨拶。

第 1 部では、金融庁 井上 俊剛・企画市場局審議官の挨拶の後、パネルディスカッションでは、SMB C 日興証券 酒井久和・第一公開引受部長、大和証券株式会社 池川忍・公開引受第一部長らが登壇し、「IPO における中小監査事務所の役割・期待」をテーマに直近の実績を踏まえた意見交換を行いました。

第 2 部・「IPO の担い手となる中小監査事務所交流会」では昨年 10 月に公表した「IPO を目指す企業の監査の担い手となる中小監査事務所リスト」に掲載されている 65 事務所から 23 の中小監査法人がブース出展を行い、証券会社をはじめとした市場関係者との交流を行いました。ブース出展に先立ち、各監査法人の紹介動画を交えたプロフィールページを特設サイト上に設けたことが、当日のスムーズは交流につながりました。

JICPA では、今後も IPO 支援に継続的に取り組み、円滑な IPO を実現する環境整備を促進していく予定です。

フォーラム概要についてはこちらからご参照ください。

<https://secure.cpe.jicpa.or.jp/ipo-forum2021/>



以 上